



平成 23 年 12 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社くらコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 田中 邦彦
(コード番号 2 6 9 5 東 証 第 1 部)
問合せ先 経理本部シニアマネージャー 久宗 裕行
(TEL. 072 - 368 - 6211)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年6月10日付「平成23年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました平成23年10月期の通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 22 年 11 月 1 日 ～ 平成 23 年 10 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	76,208	4,240	4,651	2,355	113 円 78 銭
今回修正予想（B）	74,430	2,936	3,563	1,510	72 円 96 銭
増減額（B－A）	△1,778	△1,304	△1,087	△845	－
増減率（％）	△2.3	△30.8	△23.4	△35.9	－
(ご参考) 前期実績(平成22年10月期)	70,778	4,746	5,023	2,843	137 円 37 銭

2. 修正の理由

売上高につきましては、東日本大震災以降、福島第一原発事故による放射能汚染問題が、日を追うにつれ農水産物等食材全般の安全性に対する不安感を強めていることに加え、焼き肉チェーン店や大手ファミリーレストランにおける食中毒事故が消費者の外出離れに拍車をかける状況が続いております。そんな中当社では全国各地の漁協とタイアップした「ご当地フェア」を実施し、新たな価値を訴求してまいりましたものの、外出を手控え、節約志向を強くする消費マインドの冷え込みは予想以上で、回復の兆しも窺えない状況のまま推移し、前回業績予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましても、売上高の減少に加え、積極的なテレビCMでの販売促進や有名キャラクターとのタイアップ、さらには、近年恒例となった感のあるノロウイルスやインフルエンザが大流行する冬までに、より衛生面を強化し、当社の企業コンセプトである「安心、安全、安価でおいしい」お寿司をご提供する為に開発した、フタに手を触れずにすし皿をとりだせる「鮮度くん」の全店導入に備えて、店舗オペレーションの変更や新たな設備・備品の開発コスト等が増加しました。消費者の安全・安心に資するこれらの取組は、飲食業を営む者として避けることのできない最優先の投資と考えております。この結果、営業利益及び経常利益とも前回業績予想を下回る見込みとなりました。

また、下半期に特別損失として不採算店舗の減損損失を 299 百万円計上いたしますので、当期純利益も前回業績予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上